

「地域情報化教育セミナー2019 in 富山」を開催

～2020年代に向けた教育の情報化と今後の展開～



講演を聴く参加者

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、平成31年1月31日（木）、一般財団法人全国地域情報化推進協会（理事長 利根川 一）と共催で、富山県民共生センター サンフォルテにおいて、「地域情報化教育セミナー2019 in富山」を開催しました。

セミナーでは、今後の教育分野の情報化推進に向け、ICTを活用した校務の情報化、プログラミング教育の推進等における最新動向について、富山大学名誉教授 山西 潤一氏や総務省、文部科学省等の担当者から講演しました。

また、パネルディスカッションでは、実際の教育現場に立つ先生方をパネリストに迎え、これからの教育の情報化について討論するとともに、セミナーに参加した教育関係者も事例紹介で討論に加わるなど充実したものとなりました。

会場には、教育関係者、ICT企業及び地方公共団体などの担当者ら62名が集まり、講演やパネルディスカッションを熱心に聴講し、関心の高さがうかがえました。

プログラム

基調講演	演題 「教育の情報化の中で育つ「次代が求める能力」」 講師 富山大学名誉教授 ICT教育アドバイザー 山西 潤一（やまにし じゅんいち）氏
講演1	演題 「教育の情報化の現状と今後の展望」 講師 文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 室長 折笠 史典（おりかさ 史典のり）氏
講演2	演題 「教育ICTと総務省の取組」 講師 総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報活用支援室 課長補佐 坂本 公生（さかもと こうせい）氏
講演3	演題 「学校の情報セキュリティについて」 講師 ISEN（教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会） 副委員長 井上 義裕（いのうえ よしひろ）氏
パネル ディスカッション	テーマ 「今後の教育の情報化の展望」 【コーディネーター】 富山大学名誉教授 ICT教育アドバイザー 山西 潤一 氏 【パネリスト1】 文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 室長 折笠 史典 氏 【パネリスト2】 総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報活用支援室 課長補佐 坂本 公生 【パネリスト3】 富山市立芝園小学校 教務主任 大門 秀司（だいもん しゅうじ） 氏 【パネリスト4】 豊島区立西巣鴨中学校 校長 脇田 禎彦（わきた よしひこ） 氏 【パネリスト5】 一般財団法人全国地域情報化推進協会 APPLICテクニカルアドバイザー 井上 義裕